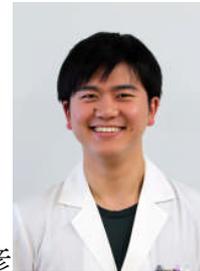


和歌山病院での実習を終えて



小畑 智彦

今回、呼吸器内科のポリクリの一環として和歌山病院で実習させていただく機会をいただきありがとうございました。普段大学で経験しているポリクリとはまた違った形の経験ができて、すごく充実した時間を過ごすことができました。

まず駿田副院長先生による結核の感染様式について講義をしていただきました。「結核は空気感染である」ということは知っており、国家試験レベルではこのことを知っているだけで対応できると思います。それで分かった気になっていましたが、駿田先生に「飛沫感染は？接触感染は？」と聞かれるうちに、説明できず何もわかっていない自分に気づかされ、自分の勉強がいかに暗記しているものかを思い知らされました。その後考え方のプロセスを教えていただきました。これからの自分の勉強にも生かせるように、今回の考え方などを忘れないようにしたいと思います。南方院長先生には胸部レントゲンの読影について教えていただきました。胸部レントゲンは昔から苦手にしており、レントゲンの原理から、考え方、診断の仕方まで詳しく教えていただきました。クイズ形式で教えていただき、とても楽しく内容の濃いものになりました。また南方先生に教えていただいたブロンコ体操も肺の区域を考えるのに便利で、今後の勉強に生かせると思いました。

最後になりましたが、お忙しい中私たちに時間を割いていただいた南方院長先生、駿田副院長先生、送迎や案内をしていただいたスタッフの皆様に感謝を申し上げます。二日間という短い期間ではありましたが、大変貴重な経験をさせていただきありがとうございました。また機会がありましたら、宜しくお願い致します。